

ご協力ありがとうございました。
 皆さんの身近な話題や情報をお寄せください。
 役場広報担当 ☎ 22-2111 (内線 416)



貫通を記念し、長田剣舞を披露した大川小の児童たち

岩 泉と宮古を結ぶトンネルが貫通

国道340号の押角トンネル(仮称、延長3094^延)の貫通式が6月5日、宮古市和井内の現地で開かれました。

関係者など約150人が出席。貫通発破の後、万歳三唱などで貫通を祝いました。

中居健一町長は「トンネルの前後は未改良。さらに道路改良が進むように地域住民と一緒に要望していきたい」と誓っていました。

同トンネルは県が復興支援道路として整備を進めていて、2020年度の開通を予定しています。

最 後の手仕事市、48店が出店

つぴたあれいわずみ実行委(八重樫康会長)は6月9・10日、うれいら商店街周辺で、いわずみ手仕事市を開きました。平成25年から開かれているこのイベントは本年が最後の開催となりました。

家族で訪れた久保一^{はじめ}さん(宮古市・38歳)は「ずっと来てみたかったイベントで、やっと来ることができました。魅力的な街並みでのイベントを続けてほしい」と願っていました。



アクセサリー作りを楽しむ人もいました



パースデーケーキを囲み、誕生日を祝うファンの皆さん

岩 泉一選手の誕生を祝う

人気漫画「ハイキュー!!」のファン感謝DAY「岩泉一^{いかりふみはな}選手の誕生日を祝う会」が6月10日、道の駅いわずみで開かれました。全国から訪れたファン106人は、グッズや特製パースデーケーキなどを写真に収めていました。

埼玉県から訪れた長島史人^{ひさひと}さん(25歳)は「今日は母の命日。ファンということもあり運命を感じ、本籍を岩泉に移しました。町の復興のため応援し続けたい」と町にエールを送っていました。

IWAZUMI まちの話題



慣れた手付きで苗を植える児童たち

汗 がキラリ、二升石小が田植え

二升石小(佐々木眞也校長・児童10人)は5月22日、同校付近の水田で田植え体験を行いました。晴天の下、児童たちは泥だらけになりながらも田植えに汗を流していました。

児童と先生、地域住民など約20人が参加。横一列に並び、苗を植えました。

児童会長の佐々木健太郎君(6年)は「地域の皆さんの協力で体験でき、感謝しています。登下校のときに苗が育っていく姿を見ることが楽しみです」と目を輝かせていました。

グ ループホーム、災害時に備え

グループホームいわずみ(似内ミユキホーム長・入所者9人)は5月23日、火災を想定した避難訓練と水害を想定した水防訓練を実施しました。施設の職員や近隣住民が協力して、入所者の避難を誘導していました。

似内ホーム長は「災害時は地域の人々の力が大きいと改めて感じました。避難マニュアルはありますが、柔軟な対応が必要だと実感しました」と気を引き締めていました。



落ち着いて避難をしました



脳トレ体験をする参加者たち

健 康づくりの意識を高めるフェア

町は6月3日、健康づくりの意識を高めようと町健康フェアを開きました。同イベントの開催は約10年ぶり。

町内外から参加した約130人は医療やスポーツ、食などさまざまな角度から健康への関心を高めていました。

相沢明子^{あきこ}さん(上の山・67歳)は「自分の健康状態を楽しく知ることができました」と満足していました。